



第 92 号 平成 29 年 1 月

医療法人 湘南ホスピタル
長谷川会

藤 沢 市 辻 堂 3-10-2
TEL 0466-33-5111

発行責任者 服部 正明



冬の北海道

撮影：新田 力

理 念

人を暖かく迎える医療
地域の健康の守り手 高齢者をささえる医療 心を大切にする医療

基 本 方 針

1. 良質な医療療養病床・地域包括ケア病床機能の提供
2. 外来機能の充実
3. 居住介護支援事業所・訪問看護ステーションの拡充
4. 地域とのつながりの強化

みなさま、
明けましておめでとうございます。

院長 木原 明子



昨年は、地域にお住まいのみなさま、湘南ホスピタル・ケアポート湘南・コスモス訪問看護ステーションをご利用いただいているみなさま、地域の様々な方々に大変お世話になり、大変ありがとうございました。2017年が平和で、穏やかな1年でありますよう祈りつつ、本年もどうぞよろしくお願いたします。

当院では、昨年12月中旬に、リハビリテーション室の拡張工事が終了いたしました。リハビリ室は、以前に比べて2倍ほどに面積が広くなり、理学療法士・作業療法士の人数も増えました。入院患者さんがご自宅などに退院できることをめざして機能訓練をおこなってまいります。



湘南ホスピタルでは、4月より、3階の病棟が地域包括ケア病床が中心の病棟になります。一方2階は、今までどおり医療療養病床として長期の入院療養が必要なかたを診療いたします。外来を受診された方や在宅療養中のかたの入院治療、急性期病院での治療後の転院・継続治療をしてまいります。

外来では、外来患者さんの健康管理・疾病予防と治療につとめるとともに、認知症の診断や治療、独居のかたがたの医療支援などもおこなってまいります。また、訪問診療の充実、健診・ドックの充実につとめてまいります。

居宅介護支援事業所ケアポート湘南と、コスモス訪問看護ステーションは、地域包括ケアシステムに沿い、ケアマネジメント・訪問看護・リハビリをおこない、地域のニーズに応じてまいります。

今後も、地域とのつながりを深め、みなさまに信頼していただける病院・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションをめざしてまいります。

暖かな新年を迎え、湘南ホスピタル正面スロープは、主に暖色系のパンジー、ヴィオラ、セントポーリアなどが植えられた早春の花壇となりました。

あらためて、本年もどうぞよろしくおねがいたします。



脳の話について (3)

脳に飛び込んでくる情報はそれぞれの感覚に応じた部位に送られ、その後、統合（情報を組み立てる）という情報処理がなされていきますが、その情報処理の経路は、二つに分かれています。何故、二つに分かれているのか？ 実は情報には、さほど急ぐ必要のないものと、極めて高速伝達を要するものがあるのです。そして、前者が通るのが「what」つまり「何か？」の経路、見たもの、聴いたもの、触ったものが、何であるかを認知、認識する経路です。後者が通るのが「how または where」つまり「どんなに？どこへ？」の経路、この三次元空間の中で行動、行為をするための経路です。「what」の経路は大腦のお腹側にある側頭葉を通り、「how または where」の経路は大腦の背中側にある頭頂葉を通ります。



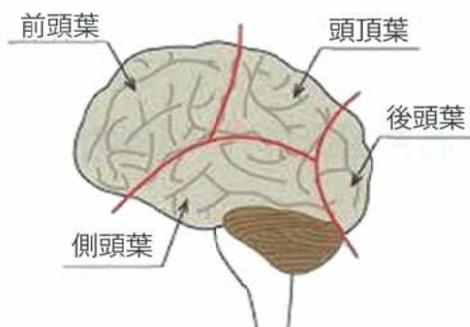
神経内科 安徳恭演



さて今、眼の前に皿に載ったケーキがあるとします。それを見たとき、我々の目に入った食べ物の情報は網膜がキャッチし、大腦の後ろの方にある後頭葉という部位まで情報の信号として運ばれていきます。この網膜から後頭葉までの経路もすでに二つに分かれています。同じ部位を通過していても、伝えている神経細胞の種類が違うのです。この二種類の伝達速度の違う信号はいずれも後頭葉に届けられるわけですが、さほど急ぐ必要のない信号が通る【何か？】の経路。これは、後頭葉から側頭葉を通過して処理されていきますが、目の前にある皿に載ったものがケーキなんだということをおおざっぱに認知、認識するための経路です。

極めて高速伝達を要する信号は、「どんなに？どこへ？」の経路ですが、それは、頭頂葉を通過して処理されていきます。こちらでは、まずはケーキの位置や、正確な形、そして、自分との距離などを知るための正確で精密な信号処理が行われていきます。そして、ケーキを食べると決定がなされれば、自らの身体の中からの信号の処理、つまり、食べるという行為を制御するための信号処理が行われることになります。フォークを手に取り、ケーキに向かってそれを動かし、ケーキを口に運ぶ。その間、ケーキの大きさ、ケーキとの距離、フォークを握る手の筋肉からの情報の信号が我々の脳に運ばれています。そして、手は常に動いていますから、情報は常に変化しています。刻々と変わっていく手の筋肉の繊細な情報は、刻々と、しかも連続的に脳に送られています。それによって、普通にケーキを食べることが可能となっているのです。

そうです。我々が当たり前のようにやっている所作、動作、行為、すべて連続的に更新されて送られてくる感覚情報なしでは、制御不能なのです。そして、それを行っているのが、「どんなに？どこへ？」の経路なのです。



安徳医師の診療日 月曜 午前・午後 (要予約)
火曜 午前 (要予約)

新任のご挨拶

初めまして！11月から消化器内科医として週2日勤務している石井恭子です。どうぞよろしくお願い致します。胃や腸の内視鏡検査を全国津々浦々武者修行した後、長年の夢であった海外で働く事を実現すべく外務省に入省しました。外務省では医務官という専門職に就いて、南米ボリビアで3年半、その後フランスで約2年暮らした後、昨年帰国しました。言葉や生活習慣、文化の違う海外での暮らしは想像以上にハプニングの連続で、現地の人を相手に本気で意見を戦わせた（要は喧嘩した？）事もありましたが、今となっては全部楽しい思い出です。



医師 石井恭子

日本人である自分を見つめる良いきっかけにもなりました。

本当はもっと長く海外で生きていきたいのですが、なかなかそうはいきません。昨年3月に私自身が自分の専門でもある胃癌に罹り、胃を全摘する手術を受けました。（医者の不養生ですね…。反省）しかし初めて



患者さんの立場になってみて、気付いた事も沢山ありました。医学書には書いていない体の変化や心の変化、そして死を身近に感じた時の気持ちは自分が病気になってみて初めて分かったことです。もう一度医師として臨床の場に戻るなら、技術や知識を提供するだけでなく、自らの体験を通して得たものを反映出来る仕事がしたいと思い、湘南ホスピタルで勤務することになった次第です。

人の命は有限です。だからこそ悔いのない人生を歩んでいきたいと思っています。外来診察や検査を通して多くの方々に出会えるのを楽しみにしています。

石井医師の外来診療日 木曜 午前、土曜 午前 / 月曜午前内視鏡検査

地域の連携役として

地域連携室 渉外担当として入職いたしました、伊澤秀平と申します。出身は湘南ホスピタルのある、藤沢市辻堂です。

自分の育った大好きな、この湘南地区で地域の皆様の医療・介護・健康に貢献していきたいと思っています。

湘南ホスピタル渉外担当の業務をご紹介します。「顔の見える」



良好な関係性を作ることを目的に日々、病院・クリニック・介護施設・居宅介護事業所・地域包括支援センターなどを訪問させていただいています。（いつもお忙しいなか、ご対応有り難うございます。）



地域連携室 伊澤秀平

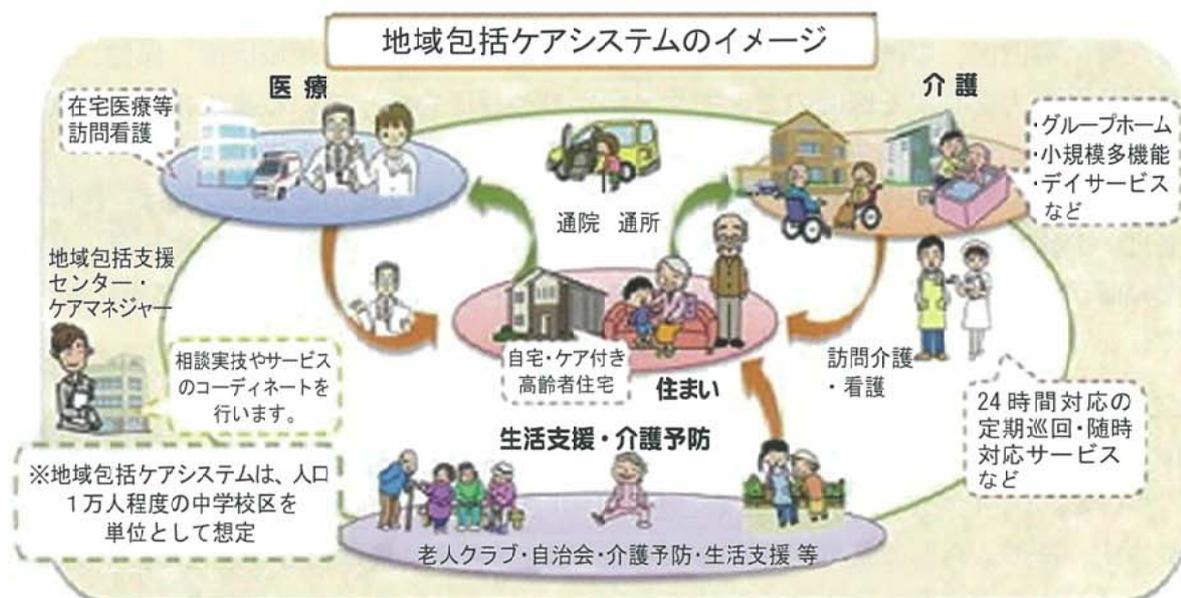
私は、湘南ホスピタルと地域の皆様との連携役として、よりスムーズな医療サービスの提供を考えています。「住み慣れた地域でその人らしく生活する」ための、架け橋になれるように取り組んで参ります。今後とも宜しくお願いいたします。

～自分らしく暮らし続けるために～ No2

藤沢市医師会 在宅医療支援センター
黒坂由美子

「地域包括ケアシステムの構築を目指して」

2025 年問題の施策として「医療」、「介護」、「住まい」、「生活支援・介護予防」を包括的に一体的に提供できる体制づくりが必要です。そのために在宅医療支援センターでは、一人の在宅患者さんに対して、ケアマネジャーを中心として、医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・栄養士・訪問理学療法士・介護福祉士（必要時協力医）等、多くの職種の方と連携を組み、支援体制を作っていく必要があると考えています。



在宅医療の条件として、①訪問診療を行う医師がいること、②24時間の訪問看護ステーションがあること、③入院に対応できる後方病床があることです。

藤沢市医師会においては、①訪問診療と往診を行っている医療機関は54ヶ所がありますが、かかりつけ医で訪問診療を行っている医療機関もありますので受診した時に相談してみてください。

また藤沢市には、②訪問看護ステーションが25カ所あり、2カ所を除いて24時間対応しています。湘南ホスピタルにもコスモス訪問看護ステーションが併設されています。

③入院可能な後方病床について、10カ所の入院施設があります。在宅での患者の受け入れにも積極的な対応です。湘南ホスピタルも受け入れていただいております。

「在宅医療支援センターの役割」

当センターの業務は大きく分けて、①相談・支援業務・②多職種連携に関すること・③市民への啓発活動など、3つの業務を行っています。

1. 相談・支援業務について

退院後、通院ができなくなった方や、かかりつけ医を持っていない方、在宅で医療を受け



たい方など、ケアマネジャーよりご相談を受け、在宅医をお探しします。

2. 医療間・多職間との連携業務について

医療・介護連携研修会を 6 回開催。参加人数は 130 人/回ほどでした。

「その人らしく最期まで暮らし続けるために」、どのように連携して支え合うかについて顔の見える関係づくりを大切にグループワークしています。

3. 市民への啓発活動について

当センターの開所時間は平日の 9 時～17 時です。場所は藤沢市医師会館内にあります。当センターは市民の方からのご相談はお受けしておりません。まず、地域包括支援センターにお尋ねください。また、ケアマネジャーさんを通して連絡をお願いします。

「かかりつけ医をもちましょう」

「かかりつけ医」は生まれて死に至る間に抱える医療を、患者や患者家族の人生とも向き合い、患者の体、臓器だけを見るのではなく、精神面・心理面の問題・社会問題にも対応できる医師ということです。つまり、かかりつけ医とは、なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時に専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う、総合的な能力を有する医師のことです。かかりつけ医を持っている事で、身体的変化が起こったとしても、今までの生活スタイルを変えることなく受診ができます。

病状により、専門の所や急性期病院へ紹介をします。又、介護支援が必要になれば、医師の意見書を元に、介護認定してもらい、施設も利用できます。在宅での療養を希望すれば、訪問看護師や薬剤師が訪問できるように指示してくれます。「自分らしく暮らし続けるためにも」、まずお近くにある「かかりつけ医」を持つことをお勧めいたします。

「リビング・ウィル」について

一人一人の生き方、人生観も違います。その人らしく暮らし続けるために「リビング・ウィル」について考えておくことが大切です。これからは、病院は看取りの場所でなくなります。その人らしく最期を迎えられるように、「自分は最期をどう迎えたいか」、家族と話し合っておきましょう。

当センターでは皆様の考えを整理しやすいように、リーフレット 2 種類を作っております。話し合う材料にお使ください。

「健康寿命を延ばす」には

健康寿命とは、心身共に、健康で日常生活が制限されることなく生活ができ、介護度を受けていない状態のことで、男性は 70 歳、女性は 74 歳といわれています。平均寿命と健康寿命の差は男性では 9 歳、女性は 13 歳となっています。

これからは平均寿命と健康寿命の差を縮めていけるように「テクテク」毎日 5000 歩程度歩く、「カミカミ」と 3 度の食事をゆっくりと、「ワクワク・ドキドキ」五感を使って感動しましょう。



トピックス

2016 年 4 月から紹介状なしで受診をすると特定病院や 500 床以上の病院に関しては初診料以外に 5000 円（消費税抜き）がかかります。紹介状があればかかりません。是非、かかりつけ医をもち、検査や処置が必要と判断されたら、大きな病院へ紹介状を書いてもらいましょう。



疾患別リハビリテーション施設基準取得について

新年あけましておめでとうございます。
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

前号にて「地域包括ケア病床に向かつて」というお話をさせて頂きました。



主任理学療法士
高橋 徹



昇降式平行棒・歩行練習用階段・電動式チルトテーブル

脳卒中や骨折など各々の疾患の特性に対応した個別の理学療法や作業療法を実施させて頂くというものです。

今回は、4月1日の「地域包括ケア病床」開設にむけてリハビリテーション室の現状および、今後の展望についてお話しさせて頂きます。

新年より、リハビリテーションにおける診療報酬上の施設基準を取得させて頂きました。「疾患別リハビリテーション」という聞きなれない言葉ではありますが、簡単に申し上げますと、



キッチン

この度取得した基準は脳梗塞やパーキンソン病などに対応する「脳血管疾患リハビリテーション」、骨折や変形性膝関節症などに対応する「運動器リハビリテーション」、肺炎や慢性閉塞性肺疾患（COPD）などに対応する「呼吸器リハビリテーション」です。

その他の条件として、診療報酬規程上リハビリテーション室の面積、人員配置などがありますが、当院ではリハビリ室の拡張、リハ機器の導入、人員確保も完了しおかげさまをもちまして新年より新たにスタートすることが出来ました。

リハビリテーション室につきましては、約2倍の広さになり、リハビリテーションスタッフにつきましては理学療法士4名、作業療法士1名の計5名となります。これらの施設基準取得に



電動昇降ベッド・乾式ホットパック装置



エアロバイク・プラットフォーム

より「地域包括ケア病床」開設に向けリハビリテーションの準備が整いました。

これまで以上に地域の皆様に貢献できるようスタッフ一同励んでまいります。また何かご質問がありましたらご遠慮なく私にお声掛け下さい。お願ひ申し上げます。



プラットフォーム・昇降テーブル



「平成 28 年度第 2 回湘南ホスピタル地域連携講演会」のお知らせ

日時：平成 29 年 2 月 25 日 土曜日 14 時～15 時 30 分

対象：地域介護施設職員 定員 30 名

場所：湘南ホスピタル

演題：1) 地域包括ケア病床はじめます！
～4 月からの転換にむけて～
地域連携部長 小林文子

2) 口腔ケアの基礎 ～ケアの必要性和実際～
講師：株式会社明治 メディカル栄養営業部 学術グループ

問い合わせ・申し込み

湘南ホスピタル「地域連携室」までご連絡ください。

電話：0466-33-5111 (代) もしくは

メール：izawa@shohos.org までご連絡ください。

スプリンクラーを設置します。

当院は病院の延べ床面積が 3 千平米未満であったため、消防法上スプリンクラーの設置が義務づけられておりませんでした。その対応策として従来から防災対策を綿密に計画し、様々な訓練を行って、万が一にそなえて万全の体制を追求してまいりました。

このたびりハビリ室拡張によりスプリンクラーの設置が義務づけられる病院の面積規模となり、従来の防災計画に加えてスプリンクラーを設置することにより、さらに安心安全の防火対策をとることができます。1 月中旬から約 3 ヶ月かけて工事をして参ります。その間、ご入院の皆様、ご家族様にはご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解ご協力をお願い申し上げます。



省エネ対策工事について

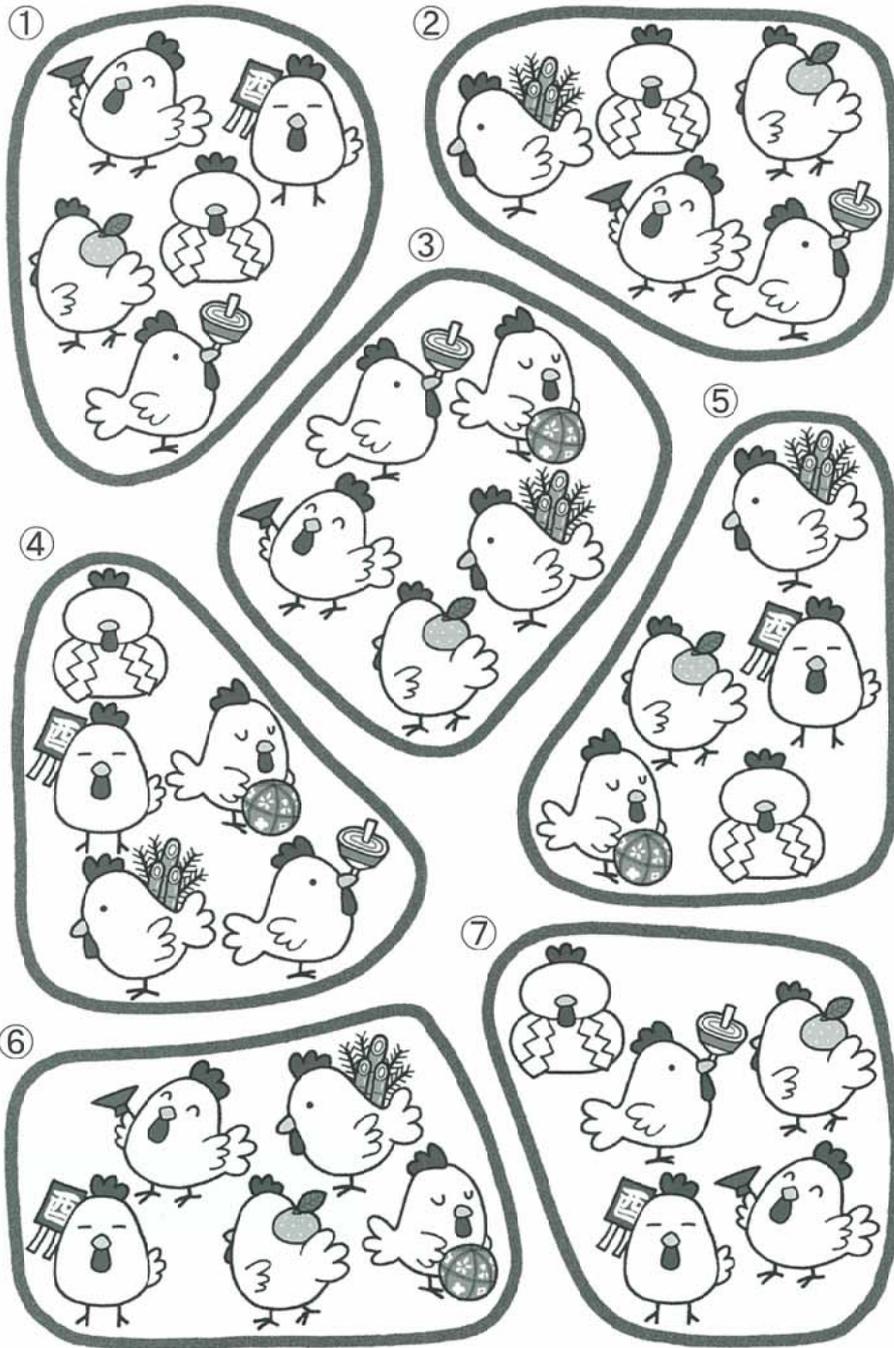
昨年、6 月ころより省エネ対策として、ほぼすべての蛍光灯を LED 照明（発光ダイオード照明）に切り替えました。さらに今春から省エネ型の冷暖房システムの更新をいたします。工事範囲は主に病棟の個室と共用スペース及び 1 階の外来診察室をのぞく範囲となります。これらの省エネ化により経費の削減を行い、患者様の療養環境の向上に取り組んでまいります。

事務部長 服部正明

セイム・セット

あけましておめでとーございます。
ご挨拶代わりにセイムセットです。

7種類のニワトリが5羽ずつセットになっていますが、同じ5種類のセッとは1組(2セット)だけです。何番と何番でしょうか？



◆応募方法 答え、住所、郵便番号、氏名、フリガナ、年齢、電話番号をはっきり書いて、待合室横の投書箱に入れるか、ハガキで送って下さい。ハガキの場合の宛先は当院「麗日編集部」まで。1人1枚に限ります。

◆なお、読者の皆様からお預かりした個人情報、当院が責任を持って管理いたします。

◆賞金 正解者の中から1人に1万円、2人に各5千円、20人に図書カードを抽選で。

◆締め切り 5月末日

◆発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。

◆10月号の答え「スポーツ」





HOSPITAL

医療法人長谷川会 湘南ホスピタル 外来診療担当表

赤字は原則として予約制です。曜日により専門科の医師が一般内科の診療も行います。

H29.1.4から



診療科		月	火	水	木	金	土
一般内科	午前	木原	黄(麗) 木原	松井	石井	松井 木原	木原 石井
	午後	富田	木原(一部予約) (第3週富田)	井上	堀田	富田	
呼吸器内科	午前	木原	木原		木原	木原	木原
	午後		木原(一部予約) (第3週休み)	井上	堀田		
消化器内科	午前		黄(麗)	黄(沾)	石井	黄(沾) 10:00~	石井
	午後			黄(沾)		黄(沾) (第1・3週)	
循環器内科	午前				木村		
	午後	富田	富田 (第3週のみ)		木村 14:30~	富田	
神経内科	午前	安德	安德	松井		松井	
	午後	安德					
精神科	午後			丸田			
整形外科	午前						吉田
糖尿病内科 内分泌内科	午前			廣井	小田		
泌尿器科	午後		木内 (第1・3週) (14:00~16:00)				
栄養相談	午後				管理栄養士		
特定保健指導	午前	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士
	午後	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	管理栄養士	
禁煙外来	午前		木原			木原	
	午後			木原 (18:00~19:00)			

午前受付時間 8:00~11:30(診療開始 9:00)
 午後受付時間 11:30~16:30(診療開始13:30)
 電話問合わせ 8:45~11:30 13:15~16:30
 休診日 土曜午後・日曜・祝日

〒215-0047 藤沢市辻堂 3-10-2
 TEL 0466-33-5111 FAX 0466-36-5116
 ホームページURL <http://www.shohos.org>

禁煙外来は水曜夕方も行っています。
 仕事帰りにいかがですか?(予約制)

病院機能評価の三回目の更新を見送りました。

病院機能評価とは病院組織全体の運営管理とその病院が提供する医療について、病院として求められる水準にあるかどうか、第三者である日本医療機能評価機構という専門機関が評価するものです。評価される項目は「患者中心の医療の推進」「良質な医療の実践1・2」「理念達成に向けた組織運営」などです。この評価を通して病院の質の改善を推進することを目的としています。

当院は五年ごとに日本医療機能評価機構の評価をクリアし、昨年十二月に三回目の更新時期を迎え準備して参りました。近年、厚生労働省が地域包括ケアシステム(地域に生活する高齢者の住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するための体制)構想を発表しておりますので、当院も地域包括ケアシステムに添った医療体制の構築が急務と判断しました。

このことにより、病棟の一部を地域包括ケア病床に転換する準備を優先した結果、同じ時期での病院機能評価の受審を見送りせざるを得なくなりました。しかしながら次の受審まで機能評価機構が求める病院のあるべき姿を維持しつつ、再度認定を取得したいと考えております。

事務部長 服部正明